

## 2016 年度事業報告

(1)事業実施報告 2016年度 会議開催・活動実施状況						
	事務局 会議 会議	運営 委員会	環境保全 学習事業	環境情報 発信事業	目田川 モデル河川	その他
4月		21日	7日	7日	16日	20日： 豊穰の郷だより発行
5月		19日	12日	12日	21日	14日： 通常総会 15日： 河川の水質調査 29日： びわこ地球市民の森のつどい 22～29日： 第13回守山ほたるパーク&ウォーク
6月		16日	2日	2日	18日	5日： 身近な水環境の全国一斉調査 19日： オオバナミズキンバイ除去作業 (赤野井湾再生プロジェクト)
7月		21日	7日	7日	16日	15日： 豊穰の郷だより発行 24日： 赤野井湾探検会
8月		18日	4日	4日	20日	6日： 河川の水質調査 21日： 水辺の楽校 (夏編)
9月		15日	1日	1日	17日	9日： 守山中学校 環境学習 19日： 先進地研修 25日： もりやま環境フェア
10月	14日	20日	6日	6日	15日	1日： 水辺百選講座 8日： 玉津学区民のつどい 16日： 守山学区民のつどい 16日： 速野学区民のつどい 23日： 小津ふれあい広場
11月	30日	17日	2日	2日	19日	5日： 水生生物調査 12日： 河川の水質調査 15日： 豊穰の郷だより発行 26日： もりやま市民活動屋台村 26日： 水辺の楽校(秋編) 27日： 20周年記念式典
12月	12日	15日	1日	1日	17日	3日： 第7回オオバナミズキンバイ除去大作戦 11日： ほたるの森資料館第1回環境学習会
1月	16日	19日	12日	5日	21日	
2月	13日	16日	2日	9日	18日	4日： 第14回 川づくりフォーラム 11日： 河川の水質調査

3月	13日	16日	2日	9日	18日	15日: 豊穰の郷だより発行 25日: ほたるの森資料館第2回環境学習会 4日: 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦 25日: 水辺の楽校(春編)
----	-----	-----	----	----	-----	--

## (2) 事業実施報告

### 全体活動

#### (1) 会議

- 第13回(2016年度)通常総会

日時 2016年5月14日(土)

場所 エルセンター 参加者 51

内容 2015年度事業報告並びに決算報告の承認

2016年度事業計画(案)並びに活動予算(案)の承認

2016年度理事、監事選任の件

- 運営委員会 毎月第3木曜日開催
- 事務局会議 運営委員会開催週の月曜日
- 環境保全学習事業部会 毎月第1木曜日開催
- 環境情報発信事業部会 毎月第1木曜日開催
- その他事務局会議、各委員会など 随時必要に応じて開催

#### (2) 2016(第13回)守山ほたるパーク&ウォーク

実施期間 2016年5月22日(日)～5月29日(日)

実行委員会構成団体 30団体

期間中のボランティア 約600人(延べ)

ホタル飛翔数 約2,500頭

観賞者数 約2  
4千人

ルシオール・アートキッズ フェスティバルと共催で行ったため、週末の開催日数が4日間になった。ホタルの飛び始めは早かったが、定例の調査期間が終わっても飛翔が見られる地点もあり、全体としての飛翔期間は長かった。

#### (3) 組織診断プロジェクト(Panasonic サポートファンド)

持続可能な経営基盤の確立のため、Panasonic サポートファンド助成を受けてプロジェクトを立ち上げた。2016年度は内部、外部からアンケートやヒアリングを行い、強み、弱みなどの洗い出しを行なった。プロジェクトより、中期目標設定のために委員会を組織し、活動を始めた。

#### (4) オオバナミズキンバイ除去プロジェクト

活動への資金調達とオオバナミズキンバイ除去活動の周知のため、クラウドファンディングという、インターネットを利用した広報を行った。結果、約30万円の支援を受けることができ、これで「第7回オオバナミズキンバイ除去大作戦」を行った。

##### 第7回オオバナミズキンバイ除去大作戦

日時 12月3日(日)参加者 200名

刈取面積 300m<sup>2</sup>(4.5t)

概要 新守山川、天神川河口付近の湖岸石組みと、漁船を使ってその周辺の除去作業を行った。初めての取り組みとしてパッカー車を使用して「絞る」工程を加え、乾燥スピードを上げる工夫を行った。

##### プロジェクトメンバー

小津自治会長会・玉津小津漁業協同組合・国際ボランティア学生協会・守山中学校(科学部) 滋賀銀行・市役所

### (5) 20周年記念事業

2016年度期間中、びわこ豊穡の郷ロゴマークを記念バージョン版に差し替え使用。記念誌(600部)を発行し会員に贈呈した。また、希望者への販売も行った。

- 20周年記念式典・パーティー  
日時:11月27日(日)  
会場:ライズヴィル 都賀山  
参加者:90名  
記念講演 滋賀大学環境総合研究センター  
特任教授 中村 正久さん



### (3) 特定非営利に係る事業

#### ①ホタルの調査、飼育及び研究事業 事業内容

10,642,769 円

##### (1) 守山市ほたるの森資料館指定管理運営

ほたるの森およびほたる河川の維持管理を行うとともに資料館その他施設を修繕して安全に観察できる場所の拡大をめざした。

- 展示物を主とした館内設備を充実させ、研修受け入れ等来館者の増加につなげた
  - ホタルおよびカワニナに関する新規展示を行なった。
  - 学習室兼展示室内の設備を充実させた。
  - 守山ほたる会および「もびかプロジェクト」との事業協同化で資料館を有効活用した
- 守山ホタル研究室の維持管理
  - ホタル研究室を維持管理し、幼虫飼育量の増加、飼育技術向上およびその普及を目指した。
- 守山ほたるパーク&ウォーク
  - 期間 5月22日(日)～5月29日(日)
  - 夜間開館を行った(19:00～22:00)
  - 市民運動公園内散策コースの安全対策を講じた。

##### (2) ホタル環境調査

- ホタル飛翔調査  
期間:5月16日(月)～6月15日(水)  
調査地点:パーク&ウォーク散策路及び、守山市ほたる条例第5条の規定に基づき定めた保護区域(ほたる河川)

##### (3) ホタル飼育、研究

- ホタル講座 (全8回実施) 一般募集 (延べ29名の参加)
- 環境学習会 (全2回以上実施) 一般募集 (合計33名の参加)
- ホタル及びカワニナの飼育および研究 (通年)
- 市内外河川の各種(水質、水生生物、河川構造等)調査 (通年)

#### ②環境情報発信事業

1,973,067 円

## 事業内容

### (1) ホームページの充実

当法人の定款及び組織などの広報

- 豊穰の郷ホームページ、フェイスブックページの管理、運営。  
行事予定、行事終了後の報告など、活動を広く周知するため、随時更新を行った。  
当法人の会員への加入や各行事への参加などのインターネットからの申し込みや、ホームページなどを見て研修受入れなど、様々なメディアからの問い合わせも増えてきた。

### (2) 機関誌の発行

- 豊穰の郷だより 75号～78号(1,300部発行)5月、8月、11月、2月  
機関誌を通じて、当法人の活動を広く周知

“紙面の見やすさ”を念頭において、写真を多くし、文字の行間、大きさなどに配慮した。また、多くの人に興味を持ってもらえるよう、読者からの投稿写真を募集し、掲載し、紹介する企画を始めた。

### (3) 学区民のつどい等情報提供

水環境保全の大切さを広く啓発し、市民の意識向上に繋げることができた。

#### 参加行事

9月25日	もりやま環境フェア
10月8日	玉津学区民のつどい
10月16日	守山学区民のつどい
〃	速野学区民のつどい
10月23日	小津ふれあいまつり
11月27日	守山市民活動屋台村



クイズに挑戦



パネルに見入るクイズ参加

#### (4) 地域情報ネットワークづくり

地域間の交流を深めるため、学識者の講演会と併せ地域や水環境に関わる団体の成果発表を行なった。

- **第14回川づくりフォーラム**

～ 里中川から赤野井湾へ ～ (参加人数 57)

開催日時: 2月5日(日)

開催場所: 守山市コミュニティ防災センター(北消防署)

基調講演: 「多主体による連携と参加型評価の新たな進め方」

滋賀県立大学環境科学部助教 平山 奈央子さん

#### 活動報告

守山市立守山中学校 科学部のみなさん (オオバナミズキンバイの研究)

守山環整株式会社 高谷 実 さん (守山ほたるパーク&ウォークガイド部会の取り

組み)

認定NPO法人びわこ豊穰の郷理事 中島 正一 さん (世界湖沼会議参加報告)

パネル展示と発表

まがりおの里「おまがりぼたるを守る会」・下之郷遺跡・学生インターンシップ活動報告

国際ボランティア学生協会・河川レンジャー・守山市ほたるの森資料館



平山奈央子さんの基調講演



守山中学校の活動発表

#### (5) 守山の水辺百選

「市民が選んだ守山の水辺百選」の充実と選定地から選んだ水辺を巡る水辺百選講座の実施。

- **第7回水辺百選講座** (参加人数 12

- )

～おらが自慢の水辺探訪～(守山の水辺百選の源流を訪ねる)

開催日時: 10月1日(土)実施

探訪場所: 野洲川ダム→ 青土ダム→ 石部頭首工→ 浮気高架下円形分水(No.21)

\*No.は水辺百選の整理番号

バスを使って守山の市内河川の源流ともいえる、野洲川ダムを訪ねた。講師に水土里ネット担当職員を迎え、興味ある話が聞けたほか、各地点で水質調査を行った。上流から市内河川の調査結果にはほとんど変わりがなく、きれいな状態が保たれていることがわかった。



## (6) 先進地研修・研修受入れ

先進地研修(参加人数 22人)

日 時 9月19日(月・祝)

研 修 地 沖島

講 師 小川 ゆかりさん 沖島離島振興推進協議会



「昔は浜でシジミがたくさん取れたけれど、今はブラックバスが取れる。自然ともっと向き合って沖島の環境のことを考えていかなければいけない。」聞きなれた言葉だが、琵琶湖で暮らす人の口から出るとその意味合いの重さはずいぶん違って聞こえた。琵琶湖を守り、生かすことを深く感じる研修となった。

もんでクルーズ遊覧(ガイド:小川さん)

### 研修受入

日時	団体名	内容	人数
9月9日	守山市立守山中学校	環境学習	36
2月16日	淡海環境保全財団(JICA)中国研修	水環境保全活動ヒアリング	6
3月4日	市立守山中学校	環境学習とオオバナミズキンバイ除去活動	4
3月4日	JTB	企業CSR活動(湖岸清掃)	20

講師派遣

1月28日	滋賀大環境総合センター	シンポジウム 女性が語る水辺環境と地域づくり
-------	-------------	---------------------------

(7) 市民による環境白書

2015年度の環境実績を基に、河川および赤野井湾の水質汚濁状況、環境保全への取り組み、環境を守る市民運動の取り組み、地球温暖化対策などを取りまとめ、「守山市の環境」として作成および印刷。

- 「守山の環境」(平成28年度版)発行(300部)  
従来の環境実績の公表や守山市での様々な団体の活動紹介のほかに、ゴミの減量に関する取り組みや、守山の水辺百選から抜粋した、水辺に親しむ環境の紹介を掲載した。



近江妙蓮

③環境保全学習事業

2,093,503 円

事業内容



## (1) 目田川モデル河川づくり

- 目田川モデル河川づくり (参加人数 延べ 116名)

作業日：毎月第3土曜日 (雨天時は翌日に順延)

4月～9月 8:30より・10月～3月 9:00より

作業場所：目田川河川公園

協力団体：レイカディア大学目田川会、湖南ホームタウンほか

(インターンシップ研修学生：龍谷大学、京都女子大学、滋賀県立大学など)

作業内容：

### 1 基本作業

(1) 雑草の刈り取りおよび除去

(2) ごみ拾い

(3) 水質調査 (pH/COD/窒素/リン酸等)

### 2 河川づくり作業

(1) 水辺の生きもの、植物等の変化観察

(2) 中洲の維持管理およびその周辺の水辺の整備

(3) 憩い・休息の場づくり (植樹による日影づくり)

(4) ゲンジボタルの生息に適した環境の維持管理

大変な作業だが16年継続して活動を続けてきたおかげで、昔の小川の姿を取り戻し多くのホタルの飛翔が観られるようになってきたことで、多くの市民が訪れ、親しまれる河川へなった。上流のポンプの停止などによる瀬切れを何度も確認した。

また、年々参加者が減少傾向にあるのは大きな課題となっている。2016年度は機関紙「豊穰の郷だより」を通じて会員に参加の呼びかけも行った。



## (2) 河川水質調査

### 河川水質調査

調査時期：代かき時、5月、8月、11月、2月と、6月の身近な水環境の全国一斉調査

調査場所：市内8河川 80か所

(法竜川、三反田川、天神川、金田井川、守山川、新守山川、山賀川

堺川及び中州学区の里中川とこれらの分流河川)

守山市内80か所の水質調査を行った。担当が高齢となっている計測地点は、安全面を考えて交代した。調査スタッフを募集中。

### (3) 水生生物調査

親子で秋の水生生物を見つけよう！

開催日：11月5日（土）13：00～16：30

参加者：16名

講師：上西 実さん（龍谷大学非常勤講師）

調査地点：吉川川（守山小学校横：定点）

目田川（河川公園付近：定点）

深津川（物部児童クラブ室小学校グラウンド東角）

金森川（金森町清和工業横）

生き物の採取の仕方や拡大モニターで観察するなど参加した子ども達は学校では学習出来ない体験ができたと言ってくれた。



採取した生物を観察

### (4) 水辺の楽校

子どもたちに水環境学習の場を提供し、地域の環境リーダーを育成する。

- 水辺の楽校 夏編・秋編・春編 目田川河川公園（参加者 延べ155人）

開催日 夏編 8月21日（日）

秋編 11月26日（土）

春編 3月25日（土）

開催場所 目田川河川公園

2016年度、秋編で、今までの守山市民運動公園から目田川へと会場を変更した。護岸に生育する植物を見つけるビンゴゲームでは、秋に実を付ける植物も多くあり、子どもたちが大変興味をもって活動する姿が見られた。また、全ての季節で、笹舟作りや竹細工など、「自然と遊ぶ」体験を取り入れた。今後は、子どもたちの可能性を引き出せるようなプログラム作りを計画したい。



川に入って活動中



ホタルの幼虫放流

### (5) 赤野井湾探検会

- 第19回赤野井湾探検会

開催日：2016年7月24日（日）

開催場所：赤野井湾水域及び木浜漁港漁村センター

参加者：子供4名、大人25

学習会講師：里口 保文 学芸員（滋賀県立琵琶湖博物館）  
琵琶湖～赤野井湾～野洲川の生い立ちについて



エリ漁体験

エリ漁体験があるため、安全面を考慮して小学生以上と限定した。子どもの参加は少なかった一方、大人の参加がたくさんあった。2回以上のリピーターは48%となることから、内容の見直しより、どうすれば多くの参加者を呼び込めるかの検討をしていきたい。エリ漁体験が好評だった。

### (6) 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦

● 第8回赤野井湾・小津袋クリーン大作戦（参加者 約98人）

開催日時：2017年3月4日（土） 9：00～11：30

小津、玉津の学区より多くの参加をいただいた。また、この日に合わせて滋賀県のオオバナミズキンバイの機械刈りのデモンストレーションが行われた。

回収ゴミ 500kg

オオバナミズキンバイ 3袋



(7) 目田川の生きもの図鑑作成

河川整備や水辺の楽校、水生生物調査などの活動を通して、集めた写真などの資料から、目田川・市内河川に生息する生きもの図鑑を、「守山市民提案型まちづくり支援事業」の助成を受けて作成した。

この図鑑は、親子で水辺に親しむ機会を増やそうと、守山の水辺で見かけた生きもの名前が、一目でわかるように、写真やイラストで構成されている。

2015年度の水生生物編に続き、2016年度は魚類編を作成した。今後、水辺の楽校や、水生生物調査、また研修の資料として活用する予定。

作成した目田川生きもの図鑑の一部 監修：上西 実さん（龍谷大学非常勤講師）





## 2016年度 活動計算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

特定非営利活動法人びわこ豊穰の郷

(単位：円)

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合 計
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
正会員受取会費	405,000		405,000
賛助会員受取会費	270,000		270,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	365,404		365,404
3 受取助成金等			
受取民間助成金	200,000		200,000
受取補助金	2,550		2,550
4 事業収益			
①ホテル調査、飼育及び研究事業収益	64,700		64,700
②環境情報発信事業収益	99,800		99,800
③環境保全学習事業収益	466,330		466,330
5 受託収益			
守山市ほたるの森資料館指定管理	12,500,000		12,500,000
守山市環境保全活動	2,999,160		2,999,160
6 その他収益			
雑収益	152,056		152,056
7 賃貸事業収益		689,500	689,500
経常収益計 (A)	17,525,000	689,500	18,214,500
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	6,151,982	112,439	6,264,421
通勤手当	222,628	2,950	225,578
法定福利費	406,420	2,080	408,500
福利厚生費	10,000	800	10,800
人件費計	6,791,030	118,269	6,909,299
(2)その他経費			
旅費交通費	322,383	643	323,026
通信運搬費	340,481	12,391	352,872
広告宣伝費	0		
消耗品費	1,128,037	9,224	1,137,261
事務用品費	8,896	84	8,980
修繕費	16,672	313	16,985
新聞図書費	16,725	1,338	18,063
印刷製本費	413,512	8,990	422,502
燃料費	3,995	0	3,995
水道光熱費	1,436,908	15,086	1,451,994
支払地代家賃	162,600	13,008	175,608
リース料	417,845	10,109	427,954
保険料	117,325	1,096	118,421
諸会費	19,062	280	19,342
諸謝金	328,613	5,893	334,506
支払手数料	12,767	900	13,667
委託費	3,029,240	11,620	3,040,860
租税公課	52,455	4,196	56,651
雑費	595,378	14,748	610,126
その他経費計	8,422,894	109,919	8,532,813
事業費計	15,213,924	228,188	15,442,112

2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	1,293,044		1,293,044
通勤手当	33,927		33,927
法定福利費	23,916		23,916
福利厚生費	9,200		9,200
人件費計	1,360,087		1,360,087
(2)その他経費			
旅費交通費	7,393		7,393
通信運搬費	142,501		142,501
広告宣伝費			
消耗品費	106,072		106,072
事務用品費	961		961
修繕費	3,602		3,602
新聞図書費	15,387		15,387
印刷製本費	103,389		103,389
水道光熱費	173,490		173,490
支払地代家賃	149,592		149,592
リース料	116,256		116,256
保険料	12,609		12,609
諸会費	3,220		3,220
諸謝金	67,777		67,777
支払手数料	10,355		10,355
委託費	133,622		133,622
租税公課	48,258		48,258
雑費	169,592		169,592
その他経費計	1,264,076		1,264,076
管理費計	2,624,163		2,624,163
経常費用計 (B)	17,838,087	228,188	18,066,275
当期経常増減額 (A - B)	△ 313,087	461,312	148,225
経理区分振替額 (C)	461,312	△ 461,312	0
①税引前当期正味財産増減額 (A - B + C)	148,225	0	148,225
②法人税、消費税等			600,512
当期正味財産増減額			△ 452,287
③前期繰越正味財産額			4,619,834
次期繰越正味財産額 (①-②+③)			4,167,547

## 2016年度 貸借対照表

(2017年3月31日現在)

特定非営利活動法人びわこ豊穰の郷

(単位：円)

(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金	130,816	未払費用	795,483
普通預金	1,892,270	前受金	3,000
定期預金	2,001,562	預り金	23,070
未収金	1,565,964	仮受金	1,000
		未払法人税等	72,200
流動資産合計	5,590,612	未払消費税	528,312
固定資産	0	流動負債合計	1,423,065
固定資産合計	0	固定負債合計	0
		負債合計	1,423,065
		正味財産の部	
		正味財産期首残高	4,619,834
		当期正味財産増減額	-452,287
		正味財産合計	4,167,547
資産合計	5,590,612	負債及び正味財産合計	5,590,612

## 2016年度 財産目録

(2017年3月31日現在)

特定非営利活動法人びわこ豊穰の郷

(単位：円)

(資産の部)		
流動資産		
現金	130,816	130,816
普通預金	1,892,270	1,892,270
--滋賀銀行	677,162	
--郵便振替口座	1,215,108	
定期預金	2,001,562	2,001,562
--滋賀銀行	2,001,562	
未収金	1,565,964	1,565,964
--その他	1,565,964	
流動資産合計		5,590,612
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		5,590,612
(負債の部)		
流動負債		
前受金	3,000	3,000
預り金	23,070	23,070
--源泉所得税 (給与)	14,970	
--源泉所得税 (報酬)	8,100	
仮受金	1,000	1,000
未払費用	795,483	795,483
未払法人税等	72,200	72,200
未払消費税	528,312	528,312
流動負債合計		1,423,065
固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		1,423,065
正味財産合計		4,167,547



## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	特定非営利活動に係る事業					その他の事業	管理部門	合 計
	①ホテル調査、 飼育及び研究 事業収益	②環境情報発信 事業収益	③環境保全学 習事業収益	④守山ほたる サポーター 事業	事業部門計	⑤賃貸事業 収益		
<b>I 経常収益</b>								
1 受取会費				150,000	150,000		525,000	675,000
2 受取寄附金				365,404	365,404			365,404
3 受取助成金等		42,000	108,000		150,000		52,550	202,550
4 事業収益	64,700	99,800	466,330		630,830			630,830
5 受託収益	12,500,000	913,765	1,635,395		15,049,160		450,000	15,499,160
6 その他収益						689,500	152,056	841,556
経常収益計	12,564,700	1,055,565	2,209,725	515,404	16,345,394	689,500	1,179,606	18,214,500
<b>II 経常費用</b>								
(1)人件費								
給料手当	4,566,451	618,412	477,864	489,255	6,151,982	112,439	1,293,044	7,557,465
通勤手当	193,494	16,226	12,539	369	222,628	2,950	33,927	259,505
法定福利費	385,883	11,438	8,839	260	406,420	2,080	23,916	432,416
福利厚生費	2,100	4,400	3,400	100	10,000	800	9,200	20,000
人件費計	5,147,928	650,476	502,642	489,984	6,791,030	118,269	1,360,087	13,700,329
(2)その他経費								
旅費交通費	71,376	176,775	74,152	80	322,383	643	7,393	330,419
通信運搬費	156,649	129,259	53,024	1,549	340,481	12,391	142,501	495,373
消耗品費	665,041	77,728	383,254	2,014	1,128,037	9,224	106,072	1,243,333
事務用品費	8,071	460	355	10	8,896	84	961	9,941
修繕費	13,579	1,723	1,331	39	16,672	313	3,602	20,587
新聞図書費	3,512	7,359	5,687	167	16,725	1,338	15,387	33,450
印刷製本費	45,327	251,311	115,750	1,124	413,512	8,990	103,389	525,891
燃料費	500	0	3,495	0	3,995	0	0	3,995
水道光熱費	1,287,933	82,973	64,116	1,886	1,436,908	15,086	173,490	1,625,484
支払地代家賃	34,146	71,544	55,284	1,626	162,600	13,008	149,592	325,200
リース料	26,537	82,600	307,444	1,264	417,845	10,109	116,256	544,210
保険料	48,778	8,030	60,380	137	117,325	1,096	12,609	131,030
諸会費	16,297	1,540	1,190	35	19,062	280	3,220	22,562
諸謝金	47,745	119,213	160,918	737	328,613	5,893	67,777	402,283
支払手数料	3,227	4,952	4,475	113	12,767	900	10,355	24,022
租税公課	11,015	23,080	17,835	525	52,455	4,196	48,258	104,909
雑費	140,607	220,138	232,790	1,843	595,378	14,748	169,592	779,718
委託費	2,914,501	63,906	49,381	1,452	3,029,240	11,620	133,622	3,174,482
その他経費計	5,494,841	1,322,591	1,590,861	14,601	8,422,894	109,919	1,264,076	9,796,889
経常費用計	10,642,769	1,973,067	2,093,503	504,585	15,213,924	228,188	2,624,163	18,066,275
法人税、消費税等								600,512
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,921,931</b>	<b>-917,502</b>	<b>116,222</b>	<b>10,819</b>	<b>1,131,470</b>	<b>461,312</b>	<b>-1,444,557</b>	<b>-452,287</b>

### 3. 使途等が制約された寄付等の内訳は、ありません。